



私の  
好きな  
場所

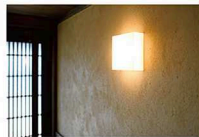
【キッチン】

造作の収納棚には北吹風のタイルを貼み込んでアクセント。タイルの模様に合わせて冷蔵庫にも同色系のシートを貼ることで、空間に統一感が生まれた。

対面式キッチンとつながるダイニング。建具はドイツ製の自然塗料で塗装。古民家風の趣が生まれた。

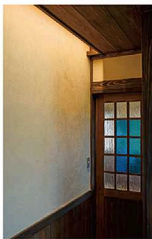


まるで旅館のような雰囲気あるリビング。窓辺のソファはみんなのお気に入りコーナー



和の風情が息づく玄関。西洋調の塗り壁は照明が当たると陰影が生まれ、さらに表情が豊かになる。

S邸で印象深いのが造作扉。格子や色ガラスを取り入れたアンティーク風のデザインが魅力



house story  
家の問  
お宅訪  
knock 00



社長からのアドバイスもあり、外観は落ち着いたあるべきの佇まいに

「ハウズランド社」がつくった  
朝倉市在住 / Sさんの住まい  
懐かしいのに、新しい  
笑顔をつなぐ二世帯住宅

ふたつの家族それぞれがストレスなく、ともに仲良く暮らしていけるように。  
家族がゆるやかにつながり合える  
二世帯住宅を「ハウズランド社」と建てた  
Sさんの住まいにおじゃましました。



何度もプランを繰り返して  
ほぼ1年かけて間取りが完成

約70軒ご実家に帰り家づくりをしようと考えてから、Sさんご夫妻が見学した住まいの数だ。それでも決定するには到らず、約5年が過ぎたという。

「そんな時、この家づくりの本でハウズランドの家を見て、ビビッときました」とご主人は振り返る。本に載っていたのは、どこか懐かしいけれど、新しさも感じる家。すぐに電

話をかけたほど、強烈なインパクトがあったという。

こうして「ハウズランド社」ともに実家の建て替えに着手したSさん。ご主人が同社にリクエストしたのは、生活スタイルが異なるふたつの世帯が一緒にストレスなく暮らせる二世帯住宅だった。

「子どもたちの成長のためにもおじいちゃんやおばあちゃんとのふれあいを大事にしたかったし、子育てを終えたオヤジとオフロには二人だけの生活もエンジョイしてほしかった。家族みんなが無理をせず、楽しく気持ちよく生活できるように、設計は時間をかけて練っていただきました。」

スタッフとひざをつき合わせ、ほぼ1年がかりで完成させた間取りは回遊性が高く、ふたつの世帯がゆるやかにつながりながら、それぞれの暮らしやすさを追求した造りになっている。

「僕らの意見をできるだけ重視してくれたのはもちろん、プロの判断でここはこうした方がいいという部分があればその理由と的確なアドバイスももらえたので助かった。ハウズランドさんのおかげでいい家になりました。」